

平成 31 年 3 月 29 日（金）全体研修 アンケート集計

☆研究発表 老健における水分マネジメントの取り組み

介護老人保健施設 青葉の丘 管理栄養士 仲田菜津子様

療養支援部部長 樋口珠江様

とても参考になった	40 人
参考になった	21 人
あまり参考にならなかった	1 人
参考にならなかった	1 人

感想等

- ・現場で活かしていきたいと思います。
- ・発表に使用された貴重な資料を見せて頂き有難うございました。
- ・体格・疾患・性別・食形態を考慮した個別の水分管理について知ることができ参考になりました。
- ・一律で提供していることが多いので体格など少しずつ加味した量での提供を心掛けたいと思いました。
- ・自動計算できるようご利用者個々で管理されていて素晴らしかった。
自施設も一律 1000cc で管理していて、進まない方はコップが 2 個も 3 個もという方がいらっしゃる。フロアで個々の水分管理はできなくても、必要水分量の把握だけでもしておく必要があると感じます。
- ・水分管理は食事摂取量と違い不透明な部分なので勉強になりました。
- ・個々にあった水分量を計算しなおしたいと思います。
- ・講演内容が分かりやすく、実践しやすく感じました。
- ・栄養士とナースが共同して研究発表できる所が素晴らしいと思いました。
多職種で連携していくことで入所者の全身状態が向上していくと思います。
- ・個人に合わせた水分計算や飲水量の目安は必要と思いつつ取組めていませんでした。
実際に行っている施設さんのお話を聞いて参考になりました。
- ・色々な視点で皆の役に立つ様にと資料作成・発表有難うございました。
- ・食事中の水分 1000cc の基準策定をどのように行ったのか気になりました。
- ・水分に着目したことはなかったので、私も広い視野を持とうと思いました。
- ・どこの施設も抱えている問題は同じでどうかこのルール（1日 1L）を変えたいと思うが根拠もいまいち分からないと悩んでいました。水分関連でリスクのある利用者から教えて頂いた取り組みをしてみたいと思いました。
- ・多職種（Ns）の視点や話が参考になりました。

- ・飲ませすぎている方が沢山いるのではないかと思います。栄養士が中心となって水分の捉え方を変えていけるよう少しずつ働きかけていけたらと思いました。
- ・こんなに飲めない、こんなに飲水量いらぬよね、という声は上がっていましたが、明確な根拠、目安がなく何か起きてから事後の対策として行うしかできていなかった為、今回の研究発表を当施設でも活用してみたいと思いました。
- ・もう飲みたくないと意思表示をしている入所者様にも良かれと思って提供してしまう負の連鎖をよく見かけていたので、しっかりと飲水量を示す必要があると感じました。
- ・施設に戻り、介・看と話をしようと思います。
- ・資料があちこちにとんで、少し分かりづらかったです。

☆講演 今後の栄養士の動向について

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科長 杉山みち子先生

とても参考になった	31人
参考になった	29人
あまり参考にならなかった	2人
参考にならなかった	0人

感想等

- ・いつもありがとうございます。
- ・大変参考になりました。施設により栄養士のポジションに開きがあると感じておりますが、今後の改訂に向けての参考にさせていただきます。
- ・施設での栄養士の立ち位置を考える内容でした。
- ・次回の改訂の一部内容が分かり良かったと思います。
- ・先生の熱意を頂きました。
- ・日々の仕事、目の前のことばかりになって仕事にうもれがちになっていたが、キャリアを考えて将来のことも意識していく事を考えさせられた。
- ・今後を考えるキーワードを沢山頂けました。
- ・モチベーションにつながる話しでした。
- ・1年に1度杉山先生のお話を聞くことができ勉強になります。
- ・通所や在宅で生活されている高齢者の栄養ケア介入は必要とは分かっているがなかなかできずにいます。先生が話されたようにまずは出来ることから始めてみようと思います。

☆研修会全体へのご意見・ご感想

- ・いつも学ばせて頂き有難うございます。
- ・内容が盛り沢山でとても有意義な時間でした。
- ・身にしみてくる講演内容で今後の職務への展開を考えていきたいと思いました。
- ・忙しい業務の中、企画・運営頂き有難うございます。
- ・話しを聞く度に、施設の現状に焦りを覚えました。
- ・月末の研修会は参加が大変です。
- ・いつもためになる研修を有難うございます。
- ・14時～の開催は遠方から来るものにとり苦痛。昼休みも取れず。

☆今後、部会で取り上げてほしい内容

- ・嚥下調整食の分類表の作成（現実的に施設展開できる食形態の作成法）
シンポジウムで横須賀地区で作成していたものを私の地区でも作成したいです
- ・経口維持加算の取り組みの共有
事例の持ちより、順調に実施できて、結果を出せている施設の話が聞きたい
- ・老健における経口移行・維持の食形態を詳しく知りたい
- ・言語聴覚士を講師に招いての内容
（食事場面の観察視点、誤嚥予防の為の食形態設定など）
- ・施設見学会 横のつながり
- ・終末期について
- ・在宅支援について
- ・低栄養スクリーニング加算の症例
- ・嚥下調整食について
- ・認知症の方への食支援
- ・食事摂取基準 2020年版（委託など対応に時間のかかる所もあると思うので）
- ・リスクマネジメント
- ・リハビリ栄養の実態について
- ・認知症と食事、脳血管疾患と認知症等
- ・通所での栄養管理
- ・超強化型施設取得、維持の為に栄養で取り組んでいること
- ・水分管理について
- ・内容ではないのですが、同じ地区の栄養士と顔を合わせる機会があればと思います